

1. 科目名 (単位 数)	音楽実践演習 (2単位)	3. 科目番号	SJMP1145
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		
4. 授業形態	演習、講義, 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	保育現場における音楽活動に関する知識、技術を身につけ、理解を深める。保育現場では、歌唱、合奏、リズム活動など様々な音楽活動において鍵盤楽器が使用されるため、現場を想定した演奏技術を身につけなければならない。具体的には、ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌う能力を習得する。また、これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。		
8. 学習目標	1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。 3. 正しい音程で歌い、歌詞の内容を表現できる歌唱力を養う。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	① ピアノ実技: 毎回レベル毎に課題曲を提示するので、次回対面までに弾けるように練習をしてくること。 ② 音楽理論: ほぼ毎回単元別の練習問題を提示するので、疑問点や質問事項は必ず聞くこと。 ③ 中間のまとめ、期末のまとめを行う。 ④ 歌唱教材: 1曲でも多くのレパートリーを持てるよう、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨むこと。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 ①高木麻衣子著『一保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す人のために一これ一冊で全てが分かる! ピアノ教本』カワイ出版 ②岡村弘・二宮紀子・杉原由利子編著『これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選 50 曲』共同音楽出版社		
11. 成績評価の規 準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができるか。 ○評定の方法 1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表 総合点の 50% 2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど 総合点の 30% 3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など) 総合点の 20% 上記のほか、本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。		
12. 受講生への メッセージ	「ピアノが弾けるようになる」ことは技術の習得です。したがって、日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じて取り組み、出来る喜びを分かち合ひましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。熱心に取り組まれることを期待しています! 弾き歌いでは、個々の技量にあった、より多くの曲に触れてほしいと思います。		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	音楽 (幼) の最終授業で発表した曲を弾けるようにしておく。
		事後学習	各自の目標 (初中級: できるだけ多くの曲に触れることを目指して、上級: 実践力のある演奏を目指して) を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第2回	ピアノレッスン 音楽理論① (音部記号・楽譜について)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論課題 (音部記号・楽譜について) に取り組む。
第3回	ピアノレッスン 音楽理論② (音名・変位記号)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論課題 (音名・変位記号) に取り組む。
第4回	ピアノレッスン 音楽理論③ (音符と休符)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論課題 (音符と休符) に取り組む。
第5回	ピアノレッスン	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて

	音楽理論④（拍子とリズム）		提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論課題（拍子とリズム）に取り組む。
第6回	ピアノレッスン 音楽理論⑤（強弱記号、簡単な楽語）	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論課題（強弱記号、簡単な楽語）に取り組む。
第7回	ピアノレッスン 音楽理論⑥（反復記号、装飾音符）	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	中間のまとめに向け、各自復習をする。
第8回	中間のまとめ（音楽理論に関する筆記試験）（ピアノ実技発表）	事前学習	中間のまとめに向け、各自復習をする。
		事後学習	各自、期末試験に向けての目標を設定し、それに応じて決めた各自の課題曲を練習する。
第9回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 筆記試験返却と解説	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第10回	ピアノレッスン 音楽理論⑦（長音階）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。音楽理論課題（長音階）に取り組む。
第11回	ピアノレッスン 音楽理論⑧（短音階）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。音楽理論課題（短音階）に取り組む。
第12回	ピアノレッスン 音楽理論⑨（コードネームの基本）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。音楽理論課題（コードネームの基本）に取り組む。
第13回	ピアノレッスン 音楽理論⑩（コードネームC・F・Gについて）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。音楽理論課題（コードネームの応用）に取り組む。
第14回	ピアノレッスン 音楽理論に関する筆記試験	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。筆記試験に向けて今までの課題を復習する
		事後学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。これまでに学習した音楽理論について復習をする。
第15回	期末のまとめ（ピアノ実技発表・筆記試験返却と解説）	事前学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。これまでに学習した音楽理論について復習をする。
		事後学習	実技の復習、これまでに学習した音楽理論について復習をする。